

自分を
守る

新規
活動

障害区分判
定委員会

保
険
加
入
推
奨

スポーツ安全保険は、誰もが安心してスポーツや文化などの**団体・グループ活動**（社会教育活動）に参加できるようにするため、（公財）スポーツ安全協会が損害保険各社と協力して作り上げた、小さな掛金で大きな補償が得られる**公益目的事業**です。
団体が指定する集合・解散場所と被保険者の自宅との通常の経路往復中の事故、団体の管理下における団体活動中の事故など安全安心な活動には必須です。詳しくは、（公財）スポーツ安全協会HP

全国障害者スポーツ大会障害区分判定のスタッフ養成を目的に本協議会では、「障害区分判定専門委員会」設置とその活動に取組み、2023年には全国講習会に1名を派遣しました。学習会を重ね、現場（各種スポーツ大会：陸上、卓球、ボッチャなど）で参加選手の障害名と運動機能を観察しての研修は知識と情報を含めた大きな成果となっています。委員は理学療法士、日頃業務で障害ある方との接点が多くある方を中心に構成されています。次年度も活動を継続し、障害者スポーツ大会参加選手の一助として取組みます。

兵庫県障害者スポーツ協会との連携



活動内容

- ①スポーツ大会運営スタッフ（事務局レベル）
- ②スポーツ大会の競技役員（専門資格取得）
- ③スポーツ教室の補助員
- ④車いす修理等メカニック
- ⑤コンディショニングなどのサポート（トレーナー）
- ⑥地域情報収集と配信
- ⑦競技団体のマネジャー

* 兵庫県のじぎく障害者スポーツ大会スタッフ申し込み方法は変わりました。

第23回全国障害者スポーツ大会遠征記 鹿児島県各市

「第23回全国障害者スポーツ大会」帯同記（岡田有希子）

この度、新型コロナウイルス感染症の影響で3年延期となった「特別全国障害者スポーツ大会_燃ゆる感動かごしま大会」兵庫県選手団【水泳】サポーターとして参加させて頂きました。今回は初参加で緊張していましたが選手・スタッフと事前に練習会・結団式で顔合わせした事で一致団結し鹿児島県の地へ臨む事が出来ました。私は水泳指導員として活動しています。パラ水泳の全国大会の関係者・コーチ陣と会場で会い、いつもと違うルールと環境の中、情報共有できました。日頃からの繋がりが活かされた瞬間でした。初めましての選手・関係者とは「あいさつ」からスタート！刺激し合い・協力し合い・応援し合い共に他府県とも交流が出来ました。人と人とが繋がる事で大きなパワーに変化する事を実感し又、選手たちのレースでの頑張り、選手一人一人が都道府県/政令指定都市の代表として誇りに賞賛され表彰される姿を見て号泣の連続。特にサポート選手たちの生活面での成長が嬉しかったです。自然と長年に渡り全スポの現場を繋いで下さり・関わって下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいになりました。今回の体験は私にとって宝物です。私ごとにはなりますがハプニングがあり事前に送ったスーツケースが屋久島へ。旅して届いたスーツケースに向かってチーム兵庫「屋久島パワー！」と仰ぎ一致団結！大会運営に関しては3年越しという期間で大変だったと思います。全てに感謝！会場からの花道は感動的でした。ありがとうございました。



発行人 ひょうごパラスポーツ指導者協議会
〒651-2181 神戸市西区曙町1070

総合リハ内県立障害者スポーツ交流館

☎ 078-927-2727 fax 078-927-8022

この会報はホームページからダウンロードできます。

<http://hyogo-ssnet.com/>

ひょうごパラスポーツ 指導者協議会だより

34
2024

アンケート
締切2/20



総会：2024年3月3日（日）10:00-13:00

会場：木口記念会館（JR芦屋駅から南へ徒歩16分）

10:00-10:45 令和5年度事業・収支報告

令和6年度事業・収支計画

ひょうごパラスポーツ指導者協議会功労賞表彰

10:55-11:15 パラスポーツ絵画展表彰

11:20-11:55 基調講演 中山 剛氏「パラフットボールと私」

12:05-12:45 フォーラム「パラスポーツ振興事業の受託と取組み」



中山 剛氏

地域活動報告 2023

地域活動と連携は、活動希望アンケートで「地域登録」をして地域役員と連絡活動となります。

【神戸地域】今年度は役員も入れ替わり、新体制でスタート。ふうせんバレーボール、卓球バレー、ポッチャを中心に神戸市内の地域スポーツクラブにも加入し、地元で定期的に活動しています。今年5月に開催される神戸2024世界パラ陸上の啓発イベントである「パラレゾ」の1回目に協力したほか、日本パラスポーツ協会の助成金を活用し、市内の小学校や体育館など7箇所ですべて普及啓発を行いました。（記：逢坂昌弘）

【東播磨地域】令和5年度の新たな取り組みとして①指導者・地域のリーダー育成の研修事業を開催。②パラスポーツ用具展示体感ブースの実施をしました。展示体感ブースにおいては、体感を希望される方が多く、地域にパラスポーツを取り入れてもらうには、このようなブースも大切だと知りました。来年度はパラカヌーやブラインドスポーツも事業に取り入れる計画があります。引き続き、東播磨地域委員一丸となり普及、周知活動に取り組めます。（記：村上ゆかり）

【丹波地域】丹波地域の登録者数も50名を超え、10年前と比べると5倍になりました。パラリンピック等がテレビや新聞で報じられ、また学校の授業でもパラスポーツを取り上げられる時代となっています。パラスポーツも障がい者が取り組みやすい様にルール化したり用具も改良されてはいますが、障がい者だけのスポーツではありません。障がいの有無に関係なく、一緒にスポーツが楽しめる時代へと向かっています。指導者の皆さんも身近なところで頑張ってみましょう。（記：吉田克則）

【但馬地域】広域地域で指導員が少ないのですが、パラスポーツの取り組みでは市町、地域の方々に協力頂いて活動をしています。水辺のユニバーサルアクティビティ2023では円山川公苑にてチャレンジカヌーの視察参加をしました。地域の良き場所の活用など但馬を盛り上げることもこれからのテーマです。また、今年度3月2日のスポーツフェスティバル事業に向けての準備を進めています。指導員も一緒に楽しもう、皆で啓蒙しようと活動しています。（記：田中宏枝）

【中播磨地域】今年度、会員指導員有志10名で活動。例年の姫路市まちづくり振興機構主催DO！スポーツ3年目となりますスポーツ21役員対象のポッチャ体験。新しい取り組み姫路市の小学校2校でのパラスポーツフェスティバル 4種目(ポッチャ、卓球バレー、ふうせんバレーボール、フライングディスク) 車いすバスケット試乗を体育館5面コートでローテーションで体験交流 同様に会員校区自治会でも実施。中播磨活動スタイルとして次年度へ活かしたく考えています。（記：八木進）

【北播磨地域】今年度はひょうごパラスポーツ指導者協議会研修として、「ポッチャで学びと交流」を初めて北播磨地域で開催しました。ポッチャ大会も行い、いろいろな方に支えられ無事終わることが出来ました。また、三木市身体障がい者福祉協議会の方と「モルック」「ポッチャ」の体験会に協働で参加しました。すぽーつひろば「はっぴい」に毎年ゲストティーチャーとして参加していますが、今後も地域に根差した活動を続けていきたいと思っています。（記：徳岡文江）

【西播磨地域】今年はコロナも落ち着き少しずつ体験会やイベント事が増え、パラスポーツが周知され、学校などから授業の一環としての依頼が増えてきました。宍粟市では森のパラスポーツフェスでポッチャやブラインドラクビー、赤穂市ではタンDEMサイクリングプロジェクト、上郡では社会福祉協議会との連携、たつの市ではふれあいスポーツ交流館を拠点としたパラスポーツ普及に色々な形でアプローチし、西播磨を盛り上げていきます。（記：片山一利）

【淡路地域】淡路ユニバーサルビーチ始動！2021年から車いすの方と一緒に阿万海岸海水浴場のリサーチ、移動方法の検証などをおこなってきました。2023年、念願のユニバーサルビーチを開催。4回の予定が台風や大雨で2回しかできませんでしたが、参加された利用者ご家族スタッフの笑顔、笑顔、本当に素敵な夏の思い出を沢山つくることができました☆お手伝い頂いたNPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクトのメンバーにも感謝したいと思います。（記：清水真澄）

【阪神地域】阪神地域は7市1町で構成されており、南から北まで広い範囲となっている為、情報共有と連携が長年の課題となっています。今年度は活動を希望されている会員へ、情報をできるだけリアルタイムで共有できるよう、総勢36名で地域の連携を深めるスタートをきりました。会員は鹿児島県で開催された、全国障害者スポーツ大会にも帯同したり、地域でのイベントに積極的に参加しました。今後も地域に根付いた活動を目指します。（記：藤原直子）

（公財）日本パラスポーツ協会委託事業「地域におけるパラスポーツ振興事業」への受託申請と取り組み

【神戸地域】



【淡路地域】



【東播磨地域】



公益財団法人日本パラスポーツ協会 「地域におけるパラスポーツ振興事業」

「地域におけるパラスポーツ振興事業」受託を申請し、神戸・淡路・東播磨の3地域において、【地域との連携によるユニバーサルスポーツの周知・理解・啓発】事業を行いました。パラスポーツ指導者育成事業を4回、パラスポーツ活動拠点の拡大・支援事業を12回開催し、パラスポーツ指導員の協力を得て、地域のニーズに合わせたパラスポーツの普及をすることができました。今年度の3地域の事業の成果と課題を踏まえ、次年度は9地域に拡大できと思っています。ご協力いただいた方々に感謝して、報告とさせていただきます。